

つくばみらい市の小中一貫教育

(1) 目指す児童生徒像

つくばみらい市では、「つくばみらいいきいきプラン」を定め、「すべての子どもを学びのステージ」へと導き、知・徳・体のバランスのとれた、たくましい児童生徒の育成を目指しています。義務教育9年間を通し、共通の目標をもち、指導内容・指導方法に連続性をもたせ、さらに教職員・保護者・地域が理解・協力のもとに小中一貫教育を推進している。

このことは、「第2期教育振興基本計画」(平成25年)で示された「基本施策10:子どもの成長に応じた柔軟な教育システム等の構築」の主な取組の中で「小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指し、義務教育9年間を通じて児童生徒の発達に合った学びを実現するため、小中一貫教育の取組事例集の活用等を図りながら、各学校や市町村における小中一貫教育の取組を促進する」と記されている。ただ、小中一貫教育の推進は目的ではなく、小中学校単独では解決できない課題を解決に導くための方策の一つである。つくばみらい市では、以上のことを踏まえた小中一貫教育を導入し、学校の主体性や創意工夫により、児童生徒の発達段階を考慮しながら、学びの連続性の中で、心豊かに個性を発揮できる子どもの育成を目指すこととした。

(2) 小中一貫教育のねらい

心理的・身体的に不安定な小学校から中学校にかけての成長期において、学習・生活指導の面で継続的・系統性のある教育を行う事は、学力の向上や児童生徒の負担を減少させる上で重要である。小学校と中学校とがスムーズな接続を図ることにより、いわゆる「中1ギャップ」の解消や専門的な教科指導、きめ細かな教育を受けることにより「学力の向上」が期待される。また、教員にとっても小中学校の業務が相互に理解され、教員の専門性が磨かれ「教員の資質の向上」につながる。

このような点を踏まえ、本市の教育において以下のような5つのねらいをもって小中一貫教育を進めていく。

<5つのねらい>

- ① 小中学校で目指す子ども像を共有し、子どもたちの生きる力の育成を図る。
- ② 小中の接続を円滑にし、子どもたちの学習活動の連続性の中で個性を伸ばす。
- ③ 教育課程編成や指導形態などの工夫・連携を図り、確かな学力の育成を目指す。
- ④ 小中学校間の教職員の連携と協同を進め、専門性を生かした教育を推進する。
- ⑤ PTAの連携や学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりを推進する。

(3) つくばみらい市小中一貫教育の概要と特色

- ① 各中学校区の特長・実態を生かした「分離・連携型小中一貫教育」を推進する。
- ② 小中の接続を工夫し、9年間を見通した弾力的な教育課程を編成・実施する。
- ③ 発達段階を考慮した小学校教科担任制等を適時導入し、学習指導の充実を図る。
- ④ 教員の連携・協同を進め、小中学校教員の効果的な交流等を図る。
- ⑤ 柔軟・効率的な教育課程の編成により、児童生徒の積極的な交流を図る。

つくばみらい市が目指す小中一貫教育の特色は、各中学校区の実態に応じて目指す児童生徒像を掲げ、小中学校9年間を見通した学びの連続性の中で実効性のある取組を展開していくことにある。そのために、各中学校区の課題解決のための取組の重点を共通理解し、各校、効果的な実践に取り組んでいく。このことにより学習習慣の確立、家庭学習の充実、小学校での教科担任制の導入や総合的な学習の時間、キャリア教育、外国語活動から外国語(英語)科への系統的・継続的指導、体験学習の充実などの効果が期待され、児童生徒の「生きる力の育成」「学力の向上」「教員資質の向上」につながっていく。

つくばみらい市の 小中一貫教育

目指す児童生徒像の共有化



「つくばみらい市の目指す児童生徒像」

- ・学びの連続性の中で，自ら進んで学習に取り組む児童生徒
- ・心豊かに個性を發揮できる児童生徒

伊奈中学校区が目指す児童生徒像

- ・進んで学習し，基礎基本を身につけ，活用能力を高める児童生徒
- ・自他を大切に，心豊かに生活できる児童生徒
- ・心身を鍛え，夢や目標に向かって努力する児童生徒

伊奈東中学校区が目指す児童生徒像

- 知) 基礎基本を主体的に習得しようとする児童生徒
- 徳) 自尊感情を育て，自他共に大切にすることができる児童生徒
- 体) 食を意識し，健康で元気に生活できる児童生徒

谷和原中学校区が目指す児童生徒像

- 知) 進んで学び，高め合う児童生徒
- 徳) 思いやりがあり，助け合う児童生徒
- 体) 鍛えあい，たくましい児童生徒

小絹中学校区が目指す児童生徒像

- ・夢に向かってたくましく生き抜く児童生徒
- ・学力を育む「しっかり聴き，じっくり考え，はっきり発表する」
- ・心と体を育む「元気にあいさつ，真剣に働く」

「学びの連続性の中で， 自ら進んで学習に取り組む児童生徒の育成」

- 基礎基本の定着 ○小学校での教科担任制
- 授業や学習のきまりの共有化 ○乗り入れ授業
- 各中学校区における学習面の課題解決の共有化
- 系統表の活用と実態に応じた取組の充実
 - ・総合的な学習の時間
 - ・キャリア教育
 - ・外国語活動から英語活動の接続
- 家庭との連携
 - ・家庭学習の手引き
 - ・各中学校区毎の共通した課題の克服

実効性のある 取組(例)

「心豊かに個性を發揮できる児童生徒の育成」

- 基本的生活習慣の定着
 - ・小中合同のあいさつ運動
- 学校生活のきまりの共有化
- 不登校児童生徒解消に向けての共通理解・指導の共有化
- 小中交流活動

「小中連携の推進 に向けて」

○情報交換と交流

- ・小中合同研修会・小中交流授業実践・相互授業参観
- 連携の3要素
 - ・目標の一貫性
 - ・指導法の一貫性
 - ・学習内容，指導内容の継続性